

地域の現状と防犯活動について、グループ討議を開催

まちづくり防犯グループ連携交流会（西播磨地区）

地域安全まちづくり推進員と警察官が、現状や問題点について意見交換

兵庫県では、県下各地で結成された「まちづくり防犯グループ」に対し、防犯・犯罪情報等を提供するとともに、グループ同士の連携を深め、防犯活動の更なる活性化を図るため、各県民局毎に「まちづくり防犯グループ連携交流会」を開催している。

6月13日、たつの市にある西播磨文化会館では「西播磨地区地域安全まちづくり推進員委嘱式・研修会及びまちづくり防犯グループ連携交流会」が開催された。委嘱式・研修会に引き続き行われた連携交流会では、「地域の現状と防犯活動について」をテーマに、警察官とまちづくり防犯グループの出席者10～30名ずつが、警察署の管内毎の6グループに分かれて意見交換を行った。



冒頭に警察官から管内の犯罪情勢について説明を受けた後、意見交換がスタート。日頃の活動の紹介や、それぞれの地域で抱える問題点や要望等について、活発な意見が飛び交った。（一例：活動費や活動用品の確保、他機関・他のグループとの交流、高齢化による人材確保等）

最後は、双方で協力をしていくことで締めくくられ、今後も垣根のない防犯活動が推進されることを期待したい。

ひろげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート



Report.1 地域の特性を活かし、 参画と協働に基づく 活動を展開

～ 加茂地区防犯グループ協議会（洲本市）～



ひょうご地域安全 SOSキャッチ電話相談

平成25年7月1日開設



日常生活の中で、地域の安全・安心にかかる異変を察知したら、お気軽に「SOSキャッチ電話相談」に通報・相談してください

身近な異変に
気づいたら…

通報先に
迷ったら…

078-341-1324

いざっほー (月～金 9:00～16:00) ※電話相談のみ 祝日・12/29～1/3 除く
専門機関や警察などに迅速・適切につなぎ、早期の対応を図ります

兵庫県・兵庫県警察

ひょうご 防犯ネット

犯罪情報や防犯情報など
メールでお知らせします。

hpp@hbnp.net



兵庫県警察本部



Report.2 老若男女で行う 多種多様なパトロール

～ 宝南自治会防犯パトロール隊（宝塚市）～



発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内

電話・FAX:078-362-1071

e-mail:hyogo@bouhan-suishin.gr.jp

URL:http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。



このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。

マモリンレポートとは

- マモリンレポートでは、県民のみなさんによる地域安全まちづくり活動の参考となるよう、まちづくり防犯グループ等の特徴的な取組を紹介します。
- 「マモリン」とは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会のシンボルキャラクターです。





地域の特性を活かし、 参画と協働に基づく活動を展開

～加茂地区防犯グループ協議会(洲本市)～

“元気”と“安心”のコミュニティづくりを推進

淡路島の中心部に位置する、緑豊かな自然に恵まれた洲本市の加茂地区防犯グループ協議会では、地域住民が自主的にさまざまな活動を展開している。

下校時の子どもの見守り活動、警察署や他の防犯グループと協働した防犯キャンペーン・防犯パトロールを精力的に行うほか、加茂地域県民交流広場では5つの教室を展開して、地域コミュニティの交流推進を図っている。



「安全・安心教室」では、洲本警察署や県民局から講師を招き、防犯・交通安全・防災の講座を年2回開催し、1回の参加者は100名以上で、地域住民の安全に対する意欲が感じられる。

地元ならではの方法で、子どもの健全育成と地域の交流を図る

加茂地域県民交流広場の「食と健康教室」では、毎年、加茂小学校の生徒を対象に田植えの体験教室を開催。今年は小学生約30人が参加し、足が抜けずに慌てる子や、毎年参加しており慣れた手つきで行う子など、思い思いに田植えを楽しんでいた。

当日植えられたもち米の稲は、収穫すれば小学生とのつき大会に活用されるとのことで、子どもたちにとって食の大切さを学ぶ貴重な経験となる取組である。

また、行事開催により、子どもとの信頼関係が築かれている。



会長 北原 文雄さんの声

加茂地区は、「地域の交流を深めよう、子どもの見守りを行おう」という意識の非常に高いところで、積極的に多くの方が活動に参加してくれます。

今後も、地域で協力して、みんなが安心して生活が出来るよう、活動をさらに充実させていきたいです。



グループの紹介 加茂地区防犯グループ協議会

全国的に子どもが被害者となる事件が増加傾向にあることを受け、平成17年、毎日の散歩を児童の下校時に実施すれば見守りに役立つのではと「加茂の子どもを見守ろう会」を発足した。防犯活動を強化するなか、地区内の防犯意識の機運がさらに高まり、平成19年に加茂連合町内会に属する10の単位町内会に加茂の子どもを見守ろう会が加わり、「加茂地区防犯グループ協議会」を発足し、自主的な防犯活動の活性化・効率化を促進している。

平成24年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。



老若男女で行う多種多様な パトロール

～宝南自治会防犯パトロール隊(宝塚市)～

地域のあらゆるところに、安全を見守る目が光る

宝南自治会防犯パトロール隊は、その名のとおり、工夫を凝らしたさまざまなパトロールで地域の安全を守っている。

平日に随時行われる防犯パトロールを基本に、夜間パトロールでは、毎月2回、約15人が2グループに分かれ、拍子木を鳴らしながら防犯・防災を呼びかける。夏休みに行われるキッズパトロールは、地元の小学生約50人とその保護者、宝塚市職員、宝塚警察署の警察官が夜間にパトロールを行った後、自治会館で警察官による防犯講話が行われる。また、わんわんパトロールは、現在280匹の登録のあるわんわんパトロール隊(犬)が、朝夕の散歩の際に、まちの美化と防犯のため地域を回り、ウォーキングパトロールでは、月2回、約10人が1時間半かけて、地区の隅々まで徒歩でパトロールを行っており、至るところでパトロール隊の姿を見かける、心強い地域である。



わんわんパトロール隊が大集合

5月12日、宝塚市野上の公園で、日頃わんわんパトロール隊として活動している犬と飼い主を対象に、犬のしつけや病気の予防法などを専門家に相談出来るイベントが開催され、ゲームを通じて犬のフン対策についても呼びかけた。



この日会場となった公園を始め、宝塚市野上地区の4つの公園は全て自治会で自主管理しており、清掃だけでなく草花を植える等手入れを欠かさず、きれいに行き届いた環境を維持していることも、犯罪の抑止に繋がっているのでは。

隊長 竹谷 泰二さんの声

地域の活動は、広く行ってこそ、何かあったときに力になります。

多くの人に参加してもらえるよう、イベントにも工夫を凝らして地域住民のコミュニケーションを図るとともに、広く啓蒙し、色々な年齢層の人たちに関心をもってもらいたいです。

グループの紹介 宝南自治会防犯パトロール隊

8年前に竹谷氏が宝南自治会会長となった際に、防犯活動をスタート。出来る時間出来る範囲でパトロールをと呼びかけたところ、徐々に参加する住民が増えていき、「宝南自治会防犯パトロール隊」を発足し、現在の活動に至っている。

隊長の竹谷氏は、老人施設への慰労等でマジックのボランティアも行き、地域住民の親睦にも一役買っており、平成24年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞(個人)を受賞。



左端が隊長 竹谷さん。